

2025年6月30日

報道関係各位

GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」機能追加 表示言語切り替えで日英バイリンガル対応が可能に ～日本国内のセキュリティチームと海外拠点との連携を円滑化～

GMO インターネットグループでサイバー攻撃対策事業を展開する GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社（代表取締役 CEO：牧田 誠 以下、GMO サイバーセキュリティ by イエラエ）は、2025年6月30日（月）より、ホワイトハッカーのノウハウを詰め込んだアタックサーフェスマネジメント（Attack Surface Management、以下 ASM）^{（※1）} ツール「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」において、表示言語切り替え機能を実装し、日英バイリンガル対応が可能になりました。

これにより、日系のグローバル企業などにおいて、日本国内のセキュリティチームと海外拠点の情報システム部門や開発チームなどとの連携を円滑にし、より効率的に脆弱性対応を進めることが可能になります。

（※1） インターネットに公開されているサーバやネットワーク機器など IT 資産の情報を収集・分析することにより、不正侵入経路となりうる脆弱性やそのリスクを検出・評価する取り組みのこと。

GMO

サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM

言語切り替えで
英語表示が可能に

GMO CYBER SECURITY
IERAE

【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の需要の高まり】

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」は、組織全体の IT 資産を自動で可視化し、脆弱性対策を一元管理するツールです。「はじめての方でも使いやすい国産 ASM」として、日本企業を対象にサービスを提供してまいりました。

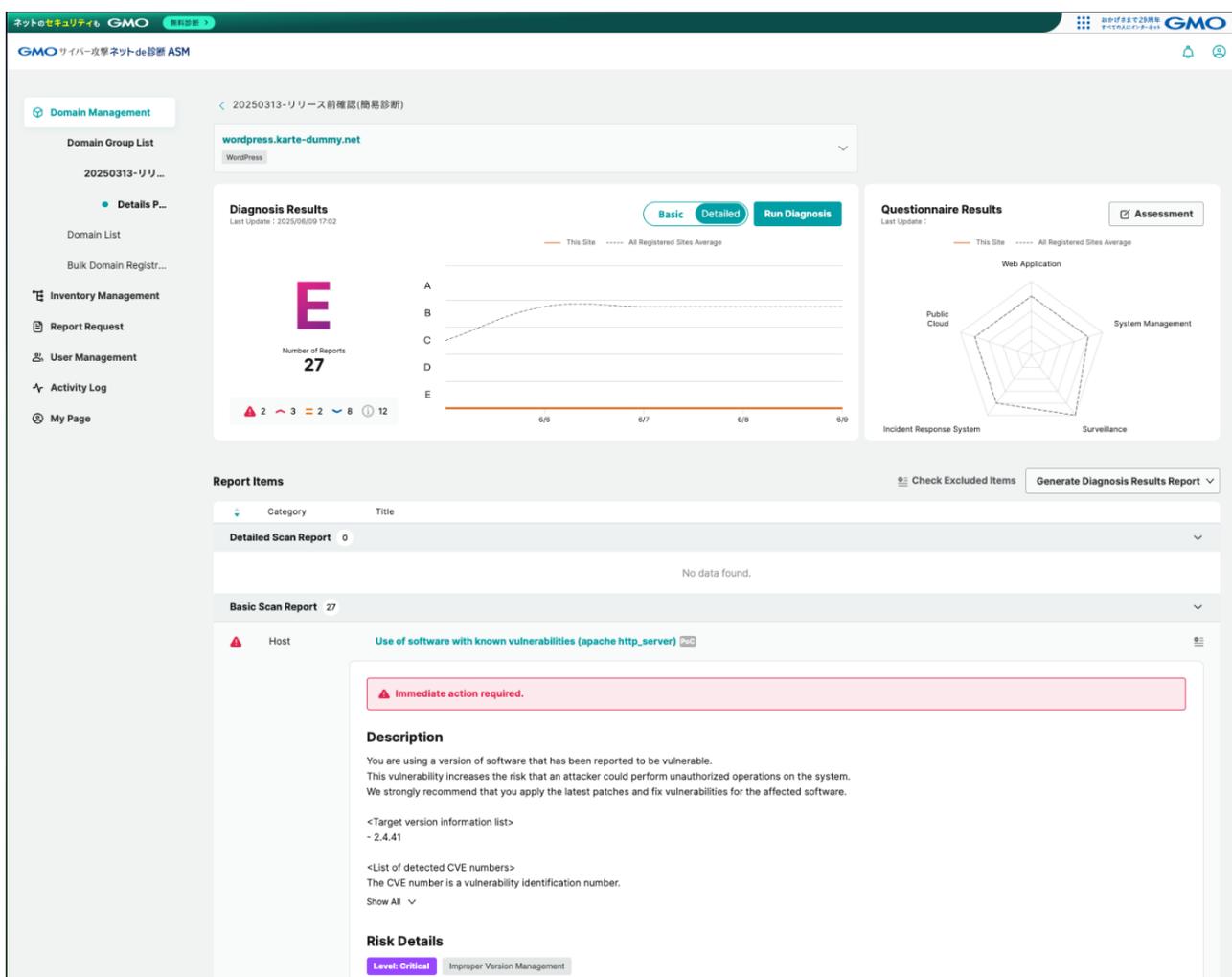
特に複数のグループ企業を抱えるホールディングス企業においては、グループ全体の脆弱性管理を本社のIT資産管理部門が一括で管理することが求められているケースや、把握しきれていないIT資産が多岐で広範囲に存在するため、ツールを活用したASMの需要がますます高まっています。

【英語対応のニーズが増加】

複数の国で事業を展開するグローバル企業などでは、日本のセキュリティチームが海外の事業所やシステム開発会社に脆弱性対応を依頼するにあたって英語でのコミュニケーションが求められます。

中には日本のセキュリティチームが「GMOサイバー攻撃 ネットde診断 ASM」で検知した脆弱性の内容や対策を英語翻訳してレポート化しているケースもありました。

このような状況から英語対応を望む声を複数いただいたことをきっかけに、表示言語切り替え機能を実装・リリースしました。英語での表示が可能になったことで日本のセキュリティチームが翻訳にかけていた手間や工数を削減し、検知した脆弱性の内容や対策方法を海外の事業所やシステム開発会社に正確かつ速やかに連携することができます。



「GMOサイバー攻撃 ネットde診断 ASM」英語版の画面イメージ

【今後の展望】

経済産業省は、2025年3月5日（水）、国内で活用されるサイバーセキュリティ製品の多くが海外製である現状を踏まえ、日本におけるサイバーセキュリティ産業・技術基盤を強化するための包括的な政策パッケージ「サイバーセキュリティ産業振興戦略^(※2)」を公表しました。同戦略に掲げられた取り組みを具体

化・実行することで、10年以内にサイバーセキュリティ産業における国内企業の売上高を、約0.9兆円から約3兆円超に増やすことを目指すとしており、サイバーセキュリティ産業全体の活発化が期待されます。

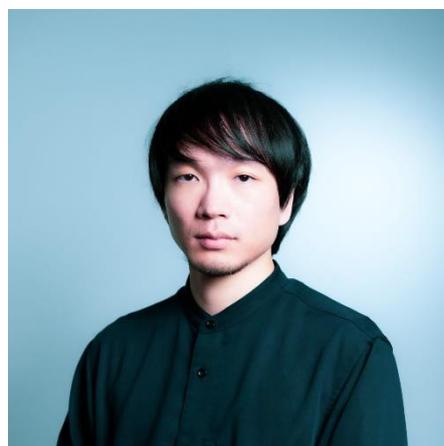
GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、国内企業のお客様のサイバー攻撃対策を支援するとともに、将来的には「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」の海外展開を検討しており、英語版の開発はその一歩と言えます。「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」はメイドインジャパンならではの高品質と信頼性、使いやすさを重視した画面設計にこだわり、今後ともツールの品質を向上してまいります。

(※2) 参考:<https://www.meti.go.jp/press/2024/03/20250305001/20250305001.html>

【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」開発チームのコメント】

■サービス責任者 市川 遼

ASM をご利用いただいているお客様の中には、海外に拠点を構える企業も多くいらっしゃいます。脆弱性などの重要な情報を正確にお伝えすることは、サービスを提供する上で非常に重要であり、その伝達が言語の違いによって妨げられるべきではないと考えています。今回の英語対応により、より多くのお客様に対して、必要な情報をより分かりやすく、確実にお届けできるようになりました。今後も、お客様一人ひとりの利用環境に配慮した改善を積み重ね、信頼性の高いサービス提供に努めてまいります。



【「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」について】

[\(https://product.gmo-cybersecurity.com/net-de-shindan/lp_enterprise/\)](https://product.gmo-cybersecurity.com/net-de-shindan/lp_enterprise/)

「GMO サイバー攻撃 ネット de 診断 ASM」は、簡単かつ直感的に使用可能な国産 ASM ツールです。お客様の社名やサービス情報、IP アドレスをもとに、攻撃対象となる可能性がある Web サイトやネットワーク機器を特定し、定期的なセキュリティ診断を実施します。これにより、自社 IT 資産の棚卸とリスクの可視化を行うことができます。

【GMO サイバーセキュリティ by イエラエについて】

[\(https://gmo-cybersecurity.com/\)](https://gmo-cybersecurity.com/)

GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、国内最大規模のホワイトハッカーで組織されたサイバーセキュリティのプロフェッショナルカンパニーです。GMO サイバーセキュリティ by イエラエは、「世界一のホワイトハッカーの技術力を身近に」を目指して、各種脆弱性診断、ペネトレーションテスト、セキュリティコンサルタント、SOC サービス、フォレンジック調査まで包括的にサイバーセキュリティ対策サービスをご提供します。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社

マーケティング部 広報担当 伊礼

TEL : 03-6276-6045

E-mail : pr@gmo-cybersecurity.com

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 田部井

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ : <https://group.gmo/contact/press-inquiries/>**【GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社】(URL : <https://gmo-cybersecurity.com/>)**

会 社 名	GMO サイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 CEO 牧田 誠
事 業 内 容	■ Web アプリ及びスマホアプリ脆弱性診断 ■ ペネトレーションテスト ■ 不正利用(チート)診断 ■ IoT 脆弱性診断 ■ 自動車脆弱性診断 ■ フォレンジック調査 ■ CSIRT 支援 ■ クラウドセキュリティ診断 ■ クラウドセキュリティ・アドバイザー
資 本 金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■ グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2025 GMO Cybersecurity by Ierae, Inc. All Rights Reserved.